

令和3年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	プロダクトデザイン概論	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2301	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	プロダクトデザインの知識を検定取得に向けた学習の中で学ぶ					
到達目標	<p>①各章の小テストで7割以上の得点を獲得できる。</p> <p>②プロダクトデザイン検定 2級を想定したテストで7割以上の点数を獲得できる。</p>					
教材名	・授業配布プリント					
資格の取得目標	・公益財団法人日本インダストリアルデザイナー協会主催 プロダクトデザイン検定 2級の合格を目指す					
授業内容と教員の実務経験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かしてプロダクトデザインの基礎を学ぶ プロダクトデザイン検定2級の試験対策を行う					
履修にあたっての留意点	<p>める。</p> <p>・スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	60%	0%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	第0章 プロダクトデザイン概論
2	↓
3	第1章 プロダクトデザインの背景
4	↓
5	第2章 社会とプロダクトデザイン
6	↓
7	↓
8	第3章 プロダクトデザインとビジネス
9	↓
10	第4章 デザインプロセス
11	↓
12	↓
13	第5章 ユーザ調査のための手法
14	↓
15	↓
16	第6章 コンセプト作成のための手法
17	↓
18	↓
19	↓
20	第7章 視覚化のための手法
21	↓
22	↓
23	第8章 デザイン評価と科学的研究
24	↓
25	↓
26	第9章 マーケティングとデザイン
27	↓
28	第10章 技術とデザイン
29	↓
30	↓
31	学期末テスト準備
32	学期末テスト

令和3年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	プロダクトデザイン実習	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2302	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	CADとデジタルファブ리케이션機器を用いて作品制作を行う					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルファブ리케이션機器や、工具(超音波カッター、リユーターなど)を使って作品を作成できる ・ Fusion360を使って写実的なレンダリングができる ・ マニュアルを見ずに3Dプリンタを使って立体物の出力ができる 					
教材名	・ 授業配布プリント					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かして製品デザインの発想・設計・Fusion360でのモデリングについて授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ・ スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、eラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	50%	30%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	fusion360の説明 fusion360の基本操作について
2	↑
3	fusion360のモデリング練習①
4	↑
5	fusion360のモデリング練習②
6	↑
7	Tスプラインモデリングの練習①
8	↑
9	Tスプラインモデリングの練習②
10	↑
11	レンダリング
12	↑
13	3Dプリンタについて 作品制作開始
14	↑
15	デザイン企画 企画書作成
16	↑
17	デザイン企画 企画書作成
18	↑
19	デザイン設計 設計書作成
20	↑
21	デザイン設計 設計書作成
22	↑
23	デザイン試作
24	↑
25	デザイン試作 デザイン評価
26	↑
27	デザイン評価 デザイン修正・再試作
28	↑
29	デザイン評価 デザイン修正・再試作
30	↑
31	まとめ
32	↑

令和3年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	機械工学Ⅱ	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2303	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	機械設計者に必要な有限要素解析手法をFusion360のCAE機能を使用しながら学ぶ					
到達目標	<p>①Fusion360のCAE機能を使って、構造解析の結果レポートを抽出できる</p> <p>②Fusion360のCAE機能を使って、出力された結果を見て、現時点でのベストプラクティスな形状に改善・変更ができる</p>					
教材名	・授業配布プリント					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かしてFusion360での静的・流体・熱解析のシミュレーションの方法についての授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<p>提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかにも評価対象とする。</p> <p>・授業の理解度をはかるため定期的に小テストを実施し、それも評価に含める。</p> <p>・スマートフォンアプリやwebでの動作検証。スマートフォンアプリやweb</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	20%	40%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	振り戻りテスト・CAEとは 1年次の内容の振り戻りテストを行う(評価対象外)、CAEの基礎知識について講義を行う
2	CAEソフトによるシミュレーション①片持ち梁 片持ち梁に荷重をかけるシミュレーションでCAEの操作を学ぶ
3	CAEソフトによるシミュレーション②穴の開いた鋼板 解析結果の見方について講義を行う
4	荷重について 静荷重と動荷重についての講義を行う
5	応力・ひずみについて 応力・ひずみについての講義を行う
6	CAEによるシミュレーション③すべり軸受 強度改善が必要な個所を検討し、改善した形状で再度解析を行い、ベストプラクティスを検討でき
7	弾性変形と塑性変形 弾性変形と塑性変形についての講義を行う
8	縦弾性係数 縦弾性係数についての講義を行う
9	CAEによるシミュレーション④強制変位 鉤爪形状に強制変位を与えた解析を行う。
10	安全率 安全率についての講義を行う
11	CAEによるシミュレーション⑤応力緩和-1 台車にかかる応力値から安全に使用できる応力値までの改善をCAEで検討する
12	CAEによるシミュレーション⑥応力緩和-2 ハンガーにかかる応力値から安全に使用できる応力値までの改善をCAEで検討する
13	応力集中 応力集中についての講義を行う
14	CAEによるシミュレーション⑦応力緩和-3 角は取れ 応力集中を緩和する方法をCAEで検討する
15	CAEによるシミュレーション⑧応力緩和-4 断面急変はNG 応力集中を緩和する方法をCAEで検討する
16	学期末テスト 筆記とCAEシミュレーションのテストを行う

令和3年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	CAD実習（機械上級Ⅱ）	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2304	単位数 8.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	CAD利用技術者試験1級 機械の取得を目指しながら、機械製図の仕方や製図記号、図面の読み方などを学ぶ					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①機械製図における作図ルールに基づき、図面を描くことができる ②3Dデータから2D図面へ描き変えができる ③現実の物体を測定してCADでモデリングができる ④機構の知識・構造を学び、簡単なおもちゃを設計できる 					
教材名	・授業配布プリント					
資格の取得目標	2次元CAD利用技術者試験2級を未合格の学生は ・2年次 6月、11月の2次元CAD利用技術者試験2級 合格を第一目標とする 1年次ならびに2年次6月に2次元CAD利用技術者試験2級を合格済の学生に関しては ・2年次 11月の2次元CAD利用技術者試験1級 合格を第1目標とする。					
授業内容と教員の実務経験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かして減速機・コンピュータ機器・エネルギー関連機器などの機械製図・Fusion360での組立図・デジタルモックアップについて授業を行う					
履修にあたっての留意点	授業の理解度を高めるための定期的な小テストを実施し、これを評価に含める。 ・スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	10%	70%	0%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	設計者に要求される資質 について講義を行う
2	↓
3	機械製図の基礎 について講義を行う
4	↓
5	材料 について講義を行う
6	↓
7	サイズ公差 について講義を行う
8	章テストを行う
9	幾何公差 について講義を行う
10	↓
11	表面性状 について講義を行う
12	↓
13	加工方法 について講義を行う
14	↓
15	機械要素 について講義を行う
16	章テストを行う
17	機械部品の作図 について講義を行う
18	↓
19	投影図からの作図 について講義を行う
20	↓
21	適切な数値からの作図 について講義を行う
22	↓
23	立体図からの作図
24	章テストを行う
25	CAD利用技術者試験 1級 対策授業
26	↓
27	↓
28	↓
29	↓
30	↓
31	↓
32	↓

回数	講義内容
33	CAD利用技術者試験 1級 対策授業
34	↓
35	↓
36	↓
37	↓
38	↓
39	↓
40	↓
41	機構部品で動くおもちゃの設計 について講義を行う
42	↓
43	↓
44	↓
45	↓
46	↓
47	↓
48	↓
49	↓
50	↓
51	↓
52	↓
53	↓
54	↓
55	↓
56	↓
57	↓
58	↓
59	↓
60	↓
61	アニメーションの作成 前期に制作した機械要素の作品をベースにfusion360のモーションスタディ機能でアニメーションを作成する
62	↓
63	学期末テスト製図と3Dモデリングのテストを行う
64	↓

令和3年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	建築法規Ⅱ	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	鯨井	
学 年	2年			教科番号	2305	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	建築基準法を、住宅計画を行いながら理解する。					
到達目標	住宅設計を基に建築基準法を理解する。					
教材名	配布プリント					
資格の 取得目標	取得目標の定めなし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	一級建築士としての業務経験を有する教員がその経験を活かして講義を通し建築法規について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	質問形式にて授業を進め、応対性を求める。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	30%	30%	10%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	敷地と環境
2	建築基準法(集団規定)
3	建築基準法(単体規定)①
4	建築基準法(単体規定)②
5	建築基準法(単体規定)③
6	構造・施工
7	住宅計画と建築基準法①
8	住宅計画と建築基準法②
9	住宅計画と建築基準法③
10	住宅計画と建築基準法④
11	住宅計画と建築基準法⑤
12	住宅計画と建築基準法⑥
13	住宅計画と建築基準法⑦
14	住宅計画と建築基準法⑧
15	住宅計画と建築基準法⑨
16	住宅計画と建築基準法⑩

令和3年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	CAD実習（建築上級Ⅱ）	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	鯨井	
学 年	2年			教科番号	2306	単位数 9.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	①JWCADの基本操作を習得する。 ②建築基準法を考慮した住宅設計及び図面作成。 ③スタディー模型の作成					
到達目標	①住宅設計の基礎知識を習得する。 ②JWCADを実務レベルでの操作を習得する。					
教材名	配布プリント					
資格の 取得目標	取得目標の定めなし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	一級建築士としての業務経験を有する教員がその経験を活かして建築設計の基礎やCAD製図技法について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	提出期限を重視し、評価対象にも反映する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	20%	40%	10%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	住宅計画①(住宅計画の進め方)
2	住宅計画②(意匠と建築基準法)
3	住宅計画③(意匠と環境)
4	住宅計画④(意匠と構造)
5	住宅計画⑤(意匠と施工)
6	住宅計画⑥(意匠と積算)
7	住宅計画⑦(意匠と設備)
8	住宅計画⑧(インテリアデザイン)
9	住宅計画とJWCAD基本入力①
10	住宅計画とJWCAD基本入力②
11	住宅計画とJWCAD基本入力③
12	住宅計画とJWCAD基本入力④
13	住宅計画とJWCAD基本入力⑤
14	住宅計画とJWCAD基本入力⑥
15	住宅計画とJWCAD基本入力⑦
16	住宅計画とJWCAD基本入力⑧
17	住宅計画とJWCAD基本入力⑨
18	住宅計画とJWCAD基本入力⑩
19	住宅計画とJWCAD基本入力⑪
20	住宅計画とJWCAD基本入力⑫
21	住宅計画とJWCAD基本入力⑬
22	住宅計画とJWCAD基本入力⑭
23	住宅計画とJWCAD基本入力⑮
24	住宅計画とJWCAD基本入力⑯
25	スタディー模型製作①
26	スタディー模型製作②
27	スタディー模型製作③
28	スタディー模型製作④
29	スタディー模型製作⑤
30	スタディー模型製作⑥
31	スタディー模型製作⑦
32	スタディー模型製作⑧

回数	
33	住宅計画とJWCAD基本入力⑰
34	住宅計画とJWCAD基本入力⑱
35	住宅計画とJWCAD基本入力⑲
36	住宅計画とJWCAD基本入力⑳
37	住宅計画とJWCAD基本入力㉑
38	住宅計画とJWCAD基本入力㉒
39	住宅計画とJWCAD基本入力㉓
40	住宅計画とJWCAD基本入力㉔
41	JWCAD詳細図面作成①
42	JWCAD詳細図面作成②
43	JWCAD詳細図面作成③
44	JWCAD詳細図面作成④
45	JWCAD詳細図面作成⑤
46	JWCAD詳細図面作成⑥
47	JWCAD詳細図面作成⑦
48	JWCAD詳細図面作成⑧
49	JWCAD詳細図面作成⑨
50	JWCAD詳細図面作成⑩
51	JWCAD詳細図面作成⑪
52	JWCAD詳細図面作成⑫
53	JWCAD詳細図面作成⑬
54	JWCAD詳細図面作成⑭
55	JWCAD詳細図面作成⑮
56	JWCAD詳細図面作成⑯
57	JWCAD詳細図面作成⑰
58	JWCAD詳細図面作成⑱
59	JWCAD詳細図面作成⑲
60	JWCAD詳細図面作成㉑
61	JWCAD詳細図面作成㉒
62	JWCAD詳細図面作成㉓
63	JWCAD詳細図面作成㉔
64	JWCAD詳細図面作成㉕

回数	
65	JWCAD詳細図面作成⑳
66	JWCAD詳細図面作成㉑
67	JWCAD詳細図面作成㉒
68	JWCAD詳細図面作成㉓
69	JWCAD詳細図面作成㉔
70	JWCAD詳細図面作成㉕
71	JWCAD詳細図面作成㉖
72	JWCAD詳細図面作成㉗

令和3年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	コンピュータグラフィックスⅡ	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2307	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ Photoshop、Illustratorを使った画像編集技術を学ぶ ・ 3dsmaxでの建築物や家具小物の制作技術を学ぶ 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①形状を3dsmaxでモデリングできる ②建築パース図をレンダリングできる ③レンダリング画像をPhotoshopでライティングの変更や実写との合成編集ができる ④illustratorを使って自分の作品をポートフォリオ・プレゼンボードに体裁よくまとめることができる 					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界で一番やさしい 3ds Max 建築CGパースの教科書(エクснаレッジ) ・ 授業配布プリント 					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かして3DSMAXでの作品制作を学ぶ・レンダリングについて授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<small>提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかにも評価対象とする。</small> ・ スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	70%	0%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	1年次復習 1年次で学んだCG技術をおさらいする。
2	↓
3	↓
4	↓
5	コンペティションへの参加 プロダクトデザインに関する公募を1つ以上選択し、 作品を制作して、応募する。
6	↓
7	↓
8	↓
9	3dsmax① 基本操作を学習する
10	↓
11	3dsmax② 建物をモデリングする
12	↓
13	3dsmax③ カメラの設定を行う
14	↓
15	3dsmax④ 外観マテリアルを適用する
16	↓
17	3dsmax⑤ 外観のライトと環境設定・レンダリングを行う
18	↓
19	3dsmax⑥ 室内空間をモデリングする
20	↓
21	3dsmax⑦ 家具・小物をモデリングする
22	↓
23	3dsmax⑧ 内観のカメラ設定を行う
24	↓
25	3dsmax⑨ 内観の外光とライティングを行う
26	↓
27	3dsmax⑩ 内観のマテリアル設定を行う
28	↓
29	3dsmax⑪ 内観のレンダリング設定を行う
30	↓
31	↓
32	↓

回数	講義内容
33	3dsmaxとRevitとの連携 Revitで制作した建築データを3dsmaxにインポートし、マテリアルの設定やレンダリングを行う
34	↓
35	↓
36	↓
37	実写合成 レンダリングした画像をPhotoshopを使って現実の写真と合成させる
38	↓
39	↓
40	↓
41	プレゼンボードの作成 建築パースをプレゼンボードにまとめる
42	↓
43	↓
44	↓
45	2年間のまとめ 2年間のまとめとして自分の作品をまとめたポートフォリオを制作する
46	↓
47	↓
48	↓

令和3年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	プロジェクト企画	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2308	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楠祭での円滑なブース運営を目標に、企画立案とスケジューリングを行う。 ・ ビジネスフレームワークやアイデア発想法を体験し、思考のまとめ方やアイデアを創出する手法を学ぶ 					
到達目標	<p>①Excelなど表計算ソフトを使ってガントチャートを用いたスケジュール表が作成・管理ができるようになる。</p> <p>②ファシリテーター指導のもと、提示された課題・テーマに基づき、ブレインストーミングからKJ法による意見・解答の構造化までの一連の流れを行うことができる。</p> <p>③PDCAサイクルの一連の流れを学び、実践できる</p>					
教材名	・ 授業配布プリント					
資格の 取得目標	・ なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かしてプロジェクト企画立案技法の習得（マーケティング・コンセプトメイキング・フィールドワーク）について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<small>提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかにも評価対象とする。</small> ・ スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、eラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	50%	20%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	授業の目的 PDCAサイクル、ガントチャート
2	アイデア発想法の実践 ガントチャートの作成
3	アイデア発想法の実践 ガントチャートの作成
4	アイデア発想法の実践 企画原案の作成
5	アイデア発想法の実践 企画原案の作成
6	アイデア発想法の実践 企画原案の作成
7	企画原案の作成 個人制作の計画
8	個人制作の計画・制作
9	個人制作の計画・制作
10	個人制作の計画・制作
11	楠祭出展準備、グーグルフォームの使い方
12	楠祭出展準備、グーグルフォームの使い方
13	楠祭出展準備
14	楠祭出展準備
15	楠祭出展準備
16	楠祭出展準備
17	PDCAサイクルの実践 楠祭の反省 卒業研究のチーム決定
18	卒業研究のスケジュール管理
19	卒業研究のスケジュール管理
20	卒業研究のスケジュール管理
21	卒業研究のスケジュール管理
22	卒業研究のスケジュール管理
23	卒業研究のスケジュール管理
24	卒業研究のスケジュール管理
25	卒業研究のスケジュール管理
26	卒業研究のスケジュール管理
27	卒業研究のスケジュール管理
28	卒業研究のスケジュール管理
29	卒業研究のスケジュール管理、発表練習
30	卒業研究のスケジュール管理、発表練習
31	卒業研究のスケジュール管理、発表練習、総括
32	卒業研究のスケジュール管理、発表練習、総括

令和3年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	プレゼンテーション技法	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2309	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	Microsoft Office Power Pointの操作を覚えながら、プレゼンテーションの基礎知識を学ぶ。					
到達目標	<p>①PowerPointを使って簡単なプレゼンテーション資料を作成できる</p> <p>②プレゼンテーションに必要な発声・仕草ができています</p> <p>③プレゼンテーションに必要な台本を作成できる</p>					
教材名	・30時間でマスター Office2016 実教出版企画開発部 実教出版					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かして効果的なプレゼンテーションの実践、卒業研究のプレゼンテーション作成について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<small>提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかにも評価対象とする。</small> ・スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、eラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	50%	30%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	プレゼンテーションとは パワーポイントの操作方法
2	↓
3	↓
4	図解化の方法
5	↓
6	簡単なプレゼンテーションを作成する① 自分の好きなものを紹介する
7	↓
8	↓
9	↓
10	簡単なプレゼンテーションを作成する② 自分の街を紹介する
11	↓
12	↓
13	↓
14	簡単なプレゼンテーションを作成する③ 今流行っているものは何故流行っているのか
15	↓
16	↓
17	↓
18	簡単なプレゼンテーションを作成する③ 2022年に流行るであろう商品
19	↓
20	↓
21	↓
22	↓
23	↓
24	↓

令和3年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	卒業研究	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋/卒研担当	
学 年	2年			教科番号	2310	単位数 15.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	2年間の総合的な学習成果として、グループで作品をつくる					
到達目標	<p>①卒業研究の意義に基づいて立案した企画が、指導担当教員の承認を得ることが出来る</p> <p>②自ら立てたスケジュールに基づき、作業を遂行し記録することができる</p> <p>③グループで定めた完成目標に基づき、修得した知識・技能や自主的な調査・研究を行い、作品という形で具現化できる</p>					
教材名	なし					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員とゲーム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かして卒業研究グループ制作を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ・ 授業態度の項目は、授業の終期に個人及びグループ総括を行い、作品及びグループへの貢献度も評価対象とする。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	35%	35%	20%	10%	100%

回数	講義内容
1	卒業研究の意義、卒業研究授業スケジュール管理について、提出フォルダ構成の説明
2	テーマ検討・決定、グループ編成、
3	↑
4	↑
5	↑
6	↑
7	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
8	↑
9	↑
10	↑
11	↑
12	↑
13	↑
14	↑
15	↑
16	↑
17	↑
18	↑
19	↑
20	↑
21	↑
22	企画書作成・編集、週間作業報告書作成、中間チェック(企画書の内容を教員にプレゼンテーションする)
23	↑
24	↑
25	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
26	↑
27	↑
28	↑
29	↑
30	↑
31	↑
32	↑

回数	講義内容
33	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
34	↑
35	↑
36	↑
37	↑
38	↑
39	↑
40	↑
41	↑
42	↑
43	↑
44	↑
45	↑
46	↑
47	↑
48	↑
49	↑
50	↑
51	↑
52	↑
53	↑
54	↑
55	↑
56	↑
57	↑
58	↑
59	↑
60	↑
61	↑
62	↑
63	↑
64	↑

回数	講義内容
65	↑
66	↑
67	↑
68	↑
69	↑
70	↑
71	↑
72	↑
73	↑
74	↑
75	↑
76	↑
77	↑
78	↑
79	↑
80	↑
81	↑
82	↑
83	↑
84	↑
85	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成 β版(動作確認が可能な)作品提出
86	↑
87	↑
88	↑
89	↑
90	↑
91	↑
92	↑
93	↑
94	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
95	↑
96	↑

回数	講義内容
97	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
98	↑
99	↑
100	↑
101	↑
102	↑
103	↑
104	↑
105	↑
106	↑
107	↑
108	↑
109	↑
110	↑
111	↑
112	グループ作業、個人作業、研究発表会準備、 発表前最終チェック(作品の内容を教員にプレゼンテーションする)
113	↑
114	↑
115	↑
116	↑
117	卒業研究総括
118	卒業研究総括
119	卒業研究総括
120	卒業研究総括

令和3年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	キャリアデザインⅡ	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2311	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○	△				
授業概要	キャリア教育を通じて、職業人として必要な責任感、誠実さ、協調性、柔軟性、倫理観を持ち、社会的・職業的自立に向けた基盤となる能力や態度を学び、修得する。そのために、実践行動学プログラムや、アサーショントレーニングなど複合的に学ぶ。					
到達目標	<p>①学ぶこと、働くことの意義、多様性を理解する。</p> <p>②実践行動学や自己ブランディングや外部・内部講演などを通じて、自己理解が出来る。</p> <p>③自己の適性に合わせた内定先を見つけ、積極的な就職活動を行う。</p> <p>④規律ある学生生活を送る。</p> <p>⑤行事の意義を理解し、積極的に役割を持ち、参加する。</p>					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夢実現のための実践行動学／実践行動学研究所出版 ・ 入社1年目の教科書／ダイヤモンド社 ・ 超速マスター！一般常識&時事問題／高橋書店 ・ 授業配布プリント 					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かして就職活動に必要な履歴書作成や面接練習等、就職指導を行う					
履修に あたっての 留意点	<p>①行事の出席・取り組み状況も評価の中に含める。</p> <p>②提出物の項目は、完成度だけでなく、提出期限が守られていたかなども評価対象とする。</p> <p>③授業とは関係のないものの使用は不可とする。</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション、各種委員選出
2	2_就職活動について
3	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア1
4	就職活動指導
5	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア2
6	適職開発室講義(自己分析と職業選択)
7	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア3
8	校長先生講義(就職活動選考時の心構えと行動について)
9	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア4
10	就職部講義(人事担当からみた今年の学生の情報)
11	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア5
12	就職活動基礎知識の復習
13	就職活動指導(履歴書、自己PRブラッシュアップ)、個人ガイダンス
14	就職活動指導(履歴書、自己PRブラッシュアップ)、個人ガイダンス
15	就職活動指導(サイトの活用、企業との連絡の仕方)
16	就職活動指導(サイトの活用、企業との連絡の仕方)
17	就職活動指導(クラス内情報交換)
18	就職活動指導(クラス内情報交換)
19	就職活動指導(入社試験の種類、模擬試験)
20	就職活動指導(入社試験の種類、模擬試験)
21	就職活動指導(面接指導)
22	就職活動指導(面接指導)
23	就職活動指導(面接指導)
24	就職活動指導(面接指導)
25	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
26	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
27	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
28	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
29	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
30	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
31	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
32	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備

回数	講義内容
33	特別講演(9月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
34	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
35	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
36	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
37	特別講演(10月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
38	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
39	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
40	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
41	特別講演(11月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
42	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
43	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
44	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
45	特別講演(1月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
46	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
47	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
48	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導

令和3年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	企業実習	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者		
学 年	2年			教科番号	2312	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	選択	
			○			
授業概要	企業でのインターンシップ					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業や病院の業務を直接体験することによって、基本姿勢を学ぶ。 2. 自分から積極的に挨拶ができるようになる。 3. 社会人として通用する立ち振る舞いを学ぶ。 4. 社会人として恥ずかしくない言葉遣いができる。 5. 自ら報告・連絡・相談ができるようにする。 6. 就職活動を真摯に行う心構えをつくる。 					
教材名	補助プリント					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	事前事後指導も評価に含める 提出期限を厳守					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	30%	20%	30%	20%	100%

回数	講義内容
1	事前学習: 1. 趣旨説明2. 書類の説明3. 企業(病院)の選択 4. 実習日誌(目標)記入
2	事前学習: 1. 趣旨説明2. 書類の説明3. 企業(病院)の選択 4. 実習日誌(目標)記入
3	実習
4	〃
5	〃
6	〃
7	〃
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	事後実習: 1. お礼状の送付2. 実習報告書の提出
16	事後実習: 1. お礼状の送付2. 実習報告書の提出